

刊夕日八月九

常磐每日新聞

定価 一月五拾五圓 半年二拾五圓 一年四拾五圓
 廣告料 五號十二字 第一行 金五拾圓
 日曜祭日の翌日 休刊
 発行所 常磐毎日新聞社
 印刷所 常磐毎日印刷株式会社

分け登る道

眞、繼、雲、山

悟りの道を開くといふてもよい、信心を獲得するといふてもよい、阿彌陀佛に救はれるといふてもよい、ここに到る道は必ずしも一様ではないが結着は一つである。坐禪といひ観法といひ念佛といふ各宗のゆき方は各その祖師方によつて切り開かれた當時の新開道路である。端的に碎いて言へばその彼岸に達するためには神社佛閣に参拝してもよい、路金がなくば坐して佛像畫像を拜すでもよい畫像がなくば佛畫を讀んでもよい、さうした材料がなくば無念無想になるがよい、無その無念想が悟りの當體であり佛の姿である、そこに到り得ば上乘であるが、凡夫は朝起きてから寝るまでといふもの何かしら必ず考へてゐる、大抵は慾なことを考へてゐる、その慾が妄念であるから、その妄念が取り拂はれ得たら、悟りの當體に外ならぬが、妄念は凡夫の地體であるゆゑ、それを取り掃ふこと容易でない、不可能といふに救ひの道を開いた宗旨が淨土門である無念無想から一步踏み出したのが念佛であり、五歩十歩踏み出したのが畫像であ

り佛像であり、萬巻の書であり、佛敎講演であり、神社佛閣である。このゆゑに親鸞聖人も「佛像よりは畫像、畫像よりは名號」と申されてゐる、第十八願は、佛様の稱へさせて下さるその念佛によつて、成佛すべき道が開かれてゐるのであり、第二十願は、自分の力で稱ふる念佛の功力によつて成佛せしめられんと期するのであり、第十九願は、禪定を修して佛智にひとしからんとする純自力の道が示されてゐるのである。出来ることなら第二十願の純自力によつて悟境を切り開くに越したことはないが、それが出来ぬゆゑ、念佛といふ一行に自力を集中せんとしたのが第十九願であり、それさへ出来ぬものは、第十八願の佛様の力で念佛を稱へさせてもらはうといふのである、慾のために忙しい現代人には、とても坐禪觀法を修し悟りを開かうなどといふ考へもなければ、そのヒマもない。念佛ならば荷をかついでゐても便所に入つてゐても稱へられるから、凡夫易行の道であるが、それすらも出来ぬ無縁の衆生は是非なき事として一念、佛を求むるの志にあらば道は開ける。既に道あり、繪を見ても書を見る

も、月を見ても、鐘の音を聞いても、悟りの道は隨時隨所に開けてゆくのである (丁)



太鼓

(層雲派新俳句)

木津茂太郎

みこしがゆれる太鼓のおとで

歩いてゆく水音として

リンリンリン蟲の音たゞ

それだけ

女の子わたしを見てにつ

こりする

日ざかりの石垣

友と私とすきとほる水の音と

わつしよわつしよと聲が

する電燈

散つてくるいちめんしろ

くなつた

うろこ雲の大きな夜空や

火の見櫓

笛の音くらしい夜空

これは萩原井泉水先

生提唱する所の在來

の舊俳句に反抗する

短詩型俳句です。

クラクラ



蠅蚊・南京虫・油虫・羽虫・蚤・虱・風退治にほんの少しで一たまりもなく死ぬ

平町新川町(電一七二)

代理店長 松崎商店 大室屋

新製品

コーヒー通の待望せる

挽立コーヒーの快味

四半卦罐入 〇、三五
 半卦 〇、六五

コーヒー發賣

グアテマラ コーヒー 二割五分三種配合
 ジモツカバ コーヒー 三割五分三種配合
 ヤバ 四割五分

速席挽立てを差上げます

大勝園コーヒー部 電三九六番

度量衡、計量器、吸入用酸素、酸素吸入器

關内藥局 電話四〇番

夏期中臨時大特賣トシテ御願申シマシタ石炭モ御蔭様デ全部ヲ賣リ盡シマシタ就キマシテハ從來ノ石炭ヲ御願ヒスル事ニナリマシタカラ不相變御引立ノ程偏ニ御願申シマス

● 正味十貫目 金三拾錢

御注文ハ

電話三七番

阿部石炭商店

△配達ハ一俵ヨリ致シマス

旭硝子株式會社製品 板ガラス

菓子食器 硝子壺

其他各種

松崎硝子製作所

平町新川町(電話一四二番) 仙臺市榮町(電話五九七番)

季節御料理

柳川 一人前 金二十五錢

うな井 金三十五錢

蒲焼 金五十五錢

右大々勉強出前迅速

◎滋養豊富!風味美味!

是非一度御試食を

魚 榮

田町(電話四二四番)

公會堂縣補助

一萬五千圓交附を

けふ縣知事に請願

平町に於ける公會堂の建設は昨報の如く昨日の町會に於て是れが

豫算とし埋立地二千七百九圓、建築費五萬三千七百九圓を可決し財源としては四萬千六百圓を町の基本財産から運用繰入れを爲す外五千圓は郡内よりの寄附金を充當し残る

一萬五千圓は縣費補助を見込んで居る事として本日建設委員は救済土木事業打合せの爲め濱三郡町村長會に臨席すべく來平中なる赤木知事及び赤土内務部長を會場たる平第三小學校に訪ね詳細に亘つて公會堂建設の急なる事實を述べ縣補助の交附を請願する處あつた由

平驛

依然赤字

平驛去月中の乗降客は海水浴當て込みの臨時列車迄増發したが乗者は四萬七千三百七十六人、降者は四萬三千三十三人で前年同期に比較すると乗者は一萬六千四

百三十九人、降者が一萬五百七十人の激減を見、収入額も二百三十二圓の減收である一方貨物の發送高は二千二百二十二噸で前年同期よりは九百八十五噸、到着は四千九百三噸で同く五千四百九十二噸の減この収入は四千六百五十圓で三百七十圓の減收である

縣出場の選手練習 磐中に集合

石城聯合青年團の縣下各青年團對抗体育大會に出場する選手一同は來る十八日磐中グラウンドに集合練習する

少女達の手で

新聞を作る

平第二小學校兒童自治會が

生活に則した實際指導

平第二小學校兒童自治會にて本日午後一時より作法室に於て役員會を開き兒童の生活訓練及び自治的陶冶を圖り合せて智能啓發の資とする爲め毎週一回騰寫版刷りの自治新聞を發行する外に書簡文書の書方の指導郵便物取扱の智識等を與へる事に努め生活上の實際指導を爲す由

高等科生徒の

學用品を販賣

當番の生徒が出勤

勿來農事協議

石城郡勿來町農會では六日午前九時より町役場に於いて實行組合長會議を開き農會

書紙、雜記帳、定本、コンパス、糊、パン等にて係員は毎日生徒中より二三人宛出動せしめ之が監督は各受持指導が當ると

世界館が辛勝

平第二小學校職員對世界館チームの野球戦は昨日午後二時より第二グラウンドに於て行つたが四對三のスコアにて世界館チーム辛勝した

湯本失業者調査

現在の處では二百五十餘名

石城郡湯本町では來月上旬頃より失業者匡救土木事業として道路及び河川の改修工事を行ふべく目下全町に亘つて失業者人員の調査中であるが現在の處では二百五十餘名となつて居るが本月末頃迄には五百名には達するであらうと

第一對世界館

平第一小學校職員對世界館チームの野球試合は本日午後二時より第一グラウンドに於て行ふと

蘭市況 (日七)

△四倉市場

(白蘭)八十五貫、(最高)五十圓六十錢、(最低)四十圓、(馴)四十七圓

消防對南町

平消防組對南町チームの野球試合は來る十一日午後二時より平第一小學校グラウンドに於て行ふ

て綺麗な流れがあるではないか。あゝ有難やかたじけなや。君は夢中で流れに下り手を洗はずすくひ取りぬかゝる。シオンは中山安兵衛高田の馬場に於て升酒を飲んだのもかくやと思ふばかり。彼君は生つばを飲み飲み今や口中に入れんとして何気なくヒョット彼方を見れば豈はからんや數百米も後方に居るべき筈の隊長大隊長軍醫副官等、一齊に視線は彼君に集まつて居た。たまたまのは折角汲み取つた水を顔にかけて洗つた、各隊長はだまつて前を通り過ぎた、無言であるだけ氣味がなほ悪い、かくして今様安兵衛も遂に飲みこねてしまつた、彼つく／＼思へらく悪い事は出來ないものだ、冷汗三斗、頭から……

宗正らひた

美味！ 芳醇！

山崎合名會社 電話一〇番

高久病院

院長 醫學士 高久 忠
副院長 新潟醫學士 赤羽 清
藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄
内科小兒科 平町田町 電話五一三番
耳鼻咽喉科 外科花柳病科 レントゲン科

内科 一般

醫學博士 難波 睦
電話五〇二一番

平町新川端(釜屋新宅向)

匪賊夜話 (8)

滿洲奉天駐劄 軍曹 矢野重光

滿洲に來て一番に感ずるものは水なり、歌の文句にもある通り「黄色い泥水汲み取つて」と有り、到底内

平町に勇姿を現す 我等の福島號

來る十八日午前十一時頃 空中から敬意

既報平町役場及び在郷軍人分會其他の有志が建造資金を募集した義勇機福島號は此程完成し來る十八日福島市に於いて盛大な命名式を舉行後所澤陸軍飛行學校の川原大尉が操縦して同日福島を出發小野新町川前を経て午前十一時十分頃平町の上空に勇姿を現し勿來、植田、小名濱、四倉と飛行して相馬方面に向ふので當日の平は非常な雑踏を見るであらうと

十五才の小娘を 海岸で暴行

犯人は逮捕され

市川検事が出張

平検事局市川検事は今朝植田署よりの急報に接し桑名書記と共に平發午前八時三十九分にて植田町に出張したが事件は石城郡勿來町大字新屋字白米敷日雇業高木太平(三)が昨日午後二時頃勿來海岸に於て同村吉田芳子(五)假名を暴行凌辱したものであると

平第一校 の運動會

平第一校 平第一小学校にては本日午後一時より職員會を開き秋季運動會を來月二十二日開催する事に決定したが各學年の競技種目は左の如くである

- ▽尋常科
 - (一年) ボール拾ひ、七夕合せ、バスケットボール、連手輪ググリ(二年)
 - 旗取、百米、バスケットボール、綱引(三年)百米帽子取、圓形ドッチボール、綱引(四年)二百米、二人三脚、帽子取、方形ドッチボール、動く籠(五年)
 - ドッチボール、二人三脚、障礙物競走、文字合せ、方形ドッチボール、擬馬
 - 擬戰(六年)二百米、障礙物競走、方形ドッチボール、綱引、擬馬、帽子取
 - ▽高等科
 - (一年) 四百米、綱引、擬

郡下養豚 健康診断

コレラ豫防

既報石城郡下の豚コレラは其後平署及び各所有者が防止に努めて居るが未だに終絶せず平署では縣衛生課と連絡を取り左記の如き日割にて郡下養豚の健康診断を行ふ事になつた

- (十日) 勿來 川部 好間
- (十一日) 泉 植田 内郷
- 飯野(十二日) 小名濱 錦
- 鹿島(十四日) 豊間 磐崎
- 夏井(十五日) 草野 平
- 湯本 大浦(十六日) 玉川
- 四倉(十七日) 神谷

自轉車に 衝突され

二週間の負傷

石城郡磐城村字藤原居住山野邊政雄(三)は六日午前十時頃小名濱へ向ふ途中玉川村大倉地内で前方より自轉車を走らせて來た玉川村字住吉居住の山田勘治(三)に

明日の天気
九日
今朝放台仙

今晚の部

- 後六、〇〇 子供の時間
- 後六、三〇 夏期英語講座
- 後七、三〇 講演「労働化」
- 後八、〇〇 ラヂオドラマ
- 「淺草の聴診」御橋公外

明日の部

- 後八、四〇 聲色「吹き寄せ」
- 後九、〇〇 室内樂
- 後九、三〇 満洲より
- 後九、四〇 全國ニュース
- 氣象通報、番組豫告
- 前六、三〇 家庭教育講座
- 「個性を活かす教育」大阪

就職運動中の 青年が行衛不明

父親が心配

石城郡神谷村中神谷居住農一夫次男鈴木稔(二)は盛んに就職の運動中であつたが本月六日夜十時頃父親の金杖を持つた盛行衛不明となつたので本日父親から捜査方を平署に願出た

受驗器物は三千百点に達したうち不合格となつたものは物さし一本ます、七十個衝器、二百二十個に及んだが前年よりは稍々成績が良し

永戸眞綿講習 石城郡永戸眞綿組合村農會では郡農會と協力して眞綿の講習會を行ふ事になつたが日割は左の如くである
七日より十三日迄字渡戸

磐中の 辯論會

平商を招いて 磐城中學校にては來る二十七日午前八時より講堂に於て平商業學校生徒を迎へ秋期辯論會を開催すると

平映畫界

- 回平館 松竹時代劇尾上榮五郎柳さく子主演「だんまり嘉助」松竹現代劇結城一郎花岡菊子主演「俺も男だ」マキノ特作市川米十郎鈴木京子主演「二番手赤穂浪士」八日より
- 回世界館 新興時代劇片桐恒男主演「實劍」新興現代劇鈴木木澄子草間實主演「マダムK.O」新興時代劇阪東妻三郎鈴木木澄子主演「牢獄の花嫁」八日より

平職業紹介所報告
回求人部の
△農夫 四十以下 尋卒
給料面談(小名濱町某)
△豆腐賣子 三十以下 尋卒
賣上の二割(原ノ町某)

野球試合状況(豫備日)
後四、二〇 第二回西日本サイクル選手権大會状況
甲子園南運動場より中継
後六、〇〇 (子供の時間)
「オートジャイロ」小川格
後六、三〇 「夏期英語講座」二八鹽谷茶
後七、三〇 講演「オリムピック馬術に出場して」陸軍騎兵中尉西竹一
後八、〇〇 ラヂヤ風景
「心爽かお、初秋」神田三朗外
後八、五〇 獨唱とピアノソプラノ佐藤春代ピアノ福井文彦
△商店員 十八迄 尋卒
月三圓(平町某)
△女中 二十以下 尋卒
給料面談(平町某)
回求職の部
△指物工 二十才 尋三修
給料面談(神谷村某)
△雜夫 三十才 尋卒 給料面談(平町某)
△土工夫 三十七才 高卒 給料面談(平町某)
△集金係 二十一才 佐賢 給料面談(内郷村某)

看護婦急派
の求めに應
じます
平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

幕末剣士

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演
近藤紫雲畫

第一百四十六席

女流劍客里見靜枝

傳藏脆く敗る

長谷部傳藏は肩着を劔ね
纏を掛け木劍を取つて進む
里見圭計も同じく肩着を劔
ね纏を掛け是亦木劍を取つ
て出た、傳藏も道具を着け
ず木劍にての試合は今の世
には珍しい打ちどころが惡
ければ死ぬが里見が勝を譲
りくると決つてゐるから
萬に一つも負傷をするやう
な事はあるまいと悠々思ひ
それで木劍勝負を望んだ、
互に位取りをしてデリ、
と進み寄る年老いたれど里
見は劔道にては壯者を凌ぐ
氣力もあり夫に達人、ヤ、
ツと掛ける氣合は傳藏の全
身にしみ渡るやう、尤も此
奴は昨年里見の道場に押寄
せ試合して辛き目に遭つて
居ればその手の内は知つて
ゐる、それゆゑ哀訴歎願し
て今日の試合に勝利を得る
やうにいたして置いた、内
に傳藏はエイと一聲サツと
打を入れた、ボン／＼と二
ツツ木劍が合つたが里見
は傳藏の獲物の手元をピン
リと打つた、手に打つたな
らば木劍は落されぬが鎧先
を打たれた事としてポロリと
傳藏は獲物を落したこれは
意外と驚いたがこゝろ

いて勝を譲りくれるものと
考へアツと云ふと飛込んで
組付いた、里見はそれを振
拂ひ獲物を棄てると腕を取
つて捻上げバツト投げた二
三間飛んで行つた傳藏バツ
タリ倒れる、そこを里見は
脊に跨り兩膝にて胸をグイ

には砂が付きその體裁の惡
い事認めしやうに里見を見
てフーと息を吐いた、立花
侯はこの時
殿「里見は名人であるな又
長谷部もかゝる名人を對手
によつて是迄闘ひ居つた、茲
兩三年修業致さばどうやら
武藝にて名を爲す事も出来
るであらうが愈らず學べ」
と云ひすて近侍と共に御
殿へ引取る富平佐仲は傳藏
を伴れて住居へ戻つたが佐
仲も殿様に面目無い、傳藏
がかうもろく負るとは思は
ない、負かたにもいらく
あつて、きれいに負たなら
ば取成す口實もあれどこの

今日は甚運勢が衰へて居り
ました
佐「左様かナ、先刻貴公は
何と申した、今日の試合は
十中八九自分勝利だと云
はれたナ、それ故拙者も安
心いたし居つた、又負るに
してもあの負かたは態が宜
しくない」
傳「不思議に存じて居りま
す、手前とても劔道には自
信も御座る、今まで多く試
合を致したれど斯の如き見
苦しき負を致した事は御座
らぬ尤も兩三日前より氣分
悪く何となく氣力も失せそ
れが爲にかゝる不覺を取り
ました事かとも存じます」
佐「左様かの時に長谷部殿
貴公を師範代に推舉致した
は拙者であるが、かゝる不
覺をとられては御當家にて
抱へる事もなるまい、尤も
師範の代理を致す事なれば
里見に及ばぬは當然であれ
ど、負方が氣に入らぬ、又
貴公とても小兒の如く扱は
れて見にくき敗を取つた上
は御當家へ仕へるも心苦き
事であらう、そこで此度の
事は一場の夢とおあきらめ
下さい」
傳「ハイ、夢にしては怪し
からん夢でござります、左
様ならば是にて立ち戻りま
す」
佐「誠にお氣の毒な事で、
また貴公が世に出る時機が
參らぬものと見える、又好
い事もござらう、徐に好運
の來たるをお待ちなさい」
傳「ハイどうも據ございま
せん、何れ兩三日内に又お
伺ひ致します、甚だ失禮御



と締付けて首を押へ
主「如何」
と云はれて傳藏はびつく
りして
傳「ウム參つたー」
これを聞いて里見は徐に
其處を離れる、傳藏は身を
起したが顔は泥に塗衣類

負かたは甚恰好が悪い
佐「長谷部殿今日は不出來
でござつたナ」
と云はれて傳藏は赤面い
たし
傳「思ひよらざる不覺を取
りましたござる、勝負は時
の運と申、こともござるが

免
傳藏は腹をさすり腰をさ
すり首を撫立花侯の邸を出
たが不埒な奴は里見圭計だ
勝を譲ると申しながら茲に
至つて違約いたすとは武士
にあるまじき事と愚痴を云
ひながら貝塚の浪宅に戻る

胃腸病藥の王座を占むる純漢法藥
松前
家傳
靈効散(無効返)

胃腸病藥の王座を占むる純漢法藥
松前
家傳
靈効散(無効返)

靈効散
定價
試用分(八日分) 輕症用(廿日分)
重症用(四十五日)
平町古鍛冶町縣社ノ下
阿康藥舖
電話四四番

漆器は共が専門
品質の正確と!!!
値段の破格と!!!
在庫品の豊富と!!!
懸命の奉仕は!!!
弊店のモットー!!!
丸共共榮漆器店
平町三丁目北裏(元郵便局裏通り)
記念表彰品。恩賜賞與品。
進物贈答品。賞品景品類。御注文應調製
店員募集 (十三才ヨリ二十三才マデ)

印刷物の御用命
印刷日毎常
番三〇六話電

耳鼻咽喉科専門
大和田醫院
平町南町
電話一七〇番

専門
産科
婦人科
花柳病科
井坂醫院
平町田町 電話五五九番